イラク・インフラマップ

2015 年 3 月

ジェトロ・ドバイ事務所

本報告書に関する問い合わせ先：

ジェトロ・ドバイ事務所

住所：Room No. 701-704, 7th floor, Maze Tower, Dubai, U.A.E.

TEL：+971-4-3880-601

環境・インフラ課

住所：〒107-6006　東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5542

【免責条項】

当該資料作成には、できる限り正確を期すよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様の判断で行って頂きますようお願い申し上げます。独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）は、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえ、ジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

概　況

イラクでは、2013 年～2017 年を対象とする 5 カ年計画「国家開発計画 2013～2017 年」[1]を進めている。経済・産業に限らず、社会政策や環境政策の広範な分野におよぶもので、2010～2014 年の開発計画の経験や反省に基づいている。経済・産業分野では、石油以外の経済活動を推進するなど従来は不十分だった産業分野の開発で経済を多様化し、公的部門と民間部門の協力促進による民間部門の役割の強化、地域格差の是正などを目指している。

1. 国家開発計画の総投資額と投資分野

国家開発計画では、5 年間の総投資額として 417 兆ディナール（約 3,570 億ドル）を予定している。このうち政府の投資額は 329 兆ディナールで全体の約 79%を占め、残りの 88 兆ディナールは民間部門からの投資を見込む。これにより産業分野における民間部門の役割を大幅に拡大する。民間からの投資では外国企業の参画を重視し、政府はあらゆる産業分野で外国企業の投資促進を目指している。計画では、政府の毎年の投資予定額（表 1）と 5 年間の総投資額の対象分野別の割合（図 1）が示されている。主なインフラ関連では、鉄道・港湾・空港・道路は通信・輸送分野に、電力は工業・エネルギー分野に、住宅開発を含めた都市開発は建設・サービス分野にそれぞれ含まれている。

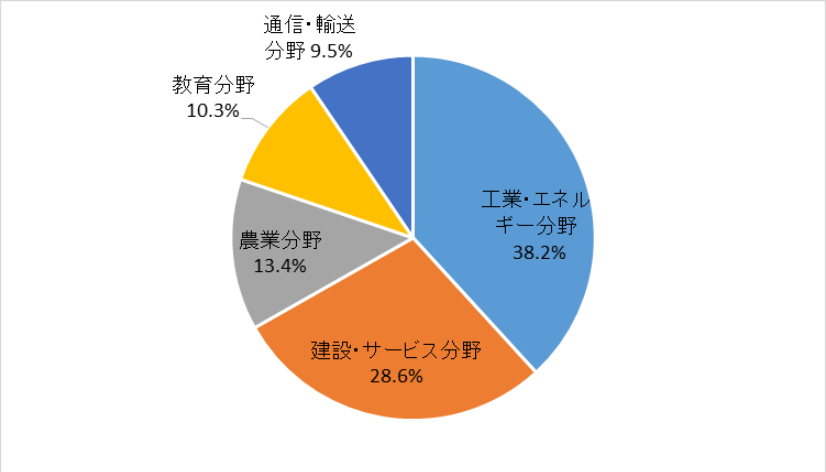
表 1：　国家開発計画の政府の投資予定額

（単位：100 万ディナール）

	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	合計
投資額	41,553.3	52,938.0	52,572.0	75,951.4	90,735.0	328,749.7

出所：National Development Plan 2013-2017

図 1：　国家開発計画の総投資額の投資分野別割合



出所：National Development Plan 2013-2017

2. 国家開発計画における主要インフラ分野の整備計画と進捗状況

国家開発計画の中で、主なインフラ関連産業の整備計画と進捗状況を各分野別に示す[2]。

[1] “National Development Plan 2013-2017” Iraq Ministry of Planning
http://www.mop.gov.iq/mop/resources/IT/pdf/123.pdf　http://www.mop.gov.iq/mop/resources/IT/pdf/456.pdf　http://www.mop.gov.iq/mop/resources/IT/pdf/789.pdf

[2] “National Development Plan 2013-2017” Iraq Ministry of Planning
“Investment Map of Iraq 2014” Iraq National Investment Commission (NIC)

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載

1)　鉄道

国営のイラク共和国鉄道（IRR）が保有する鉄道路線は総延長が約 2,405km におよぶが、十分に機能していないとされる。このため国家開発計画では、老朽化した鉄道網を修復するとともに鉄道網を拡張し、これにより輸送能力の拡大と高速化を進め、近隣諸国に対して貨物輸送で競争力を強化する。鉄道網の刷新、路線の延長、複線化などには 5 年間で約 400 億ドルの投資が必要とされる。国家開発計画では以下の目標と施策を掲げている。

- 鉄道輸送システムの現代化と開発および運用能力の強化
  旅客・貨物の輸送能力の拡大。単線路線の複線化と鉄道交差点の廃絶。車両や軌道の現代化と鉄道網の通信・信号システムの現代化。鉄道プロジェクトの実施総局の再構築。鉄道プロジェクトの実施・建設で、鉄道のエンジニアリング・技術組織の構築。
- 輸送時間の短縮と安全性の保証
  旅客用列車の時速を第 1 段階で 140km に、第 2 段階で 250km に引き上げる。鉄道網の電化と鉄道の交差点の廃絶。
- 東西を結ぶイラクの地理的地位の強化：近隣諸国との鉄道の接続を強化。
- 民間部門と外国からの投資の役割強化

路線の拡張計画では、第 1 段階として 10 路線（総延長 2,442km）を予定し、総投資額は約 336 億ドルに上る。第 2 段階では 4 路線（総延長 1,218km）で総投資額は約 145 億ドルを予定する。すでにイラク運輸省は、9 つの主要路線の実施計画を採択している。

なおバクダッドでは、人口増加に伴う交通混雑の緩和に向けて、Underground Metro（地下鉄 2 路線：18km および 20km、駅は 21 カ所）の建設を計画している。併せて Overground Metro の建設計画も進められ、2013 年 2 月に 4,000 万ドルで設計を発注している。

2)　港湾

従来の投資不足による港湾施設の老朽化に対処し、既存の港湾施設を刷新・拡大する。また、アジアと欧州の中間という同国の戦略的位置を高めるため、Faw Peninsula に新たに巨大なコンテナ用港湾施設の建設を計画している。これにより貨物の取扱い能力を拡大する（表 2）。国家開発計画では、以下の目標と施策を掲げる。

- 既存の港湾の取扱い能力の強化
  港湾の開発・拡張・現代化に必要な資金の配分。港湾の効率とパフォーマンスを高めるため、コンサルテーションや提案、ソリューションを提供する国際的な専門コンサルティング会社の利用。港湾への航路を整備し、船舶航行用の画像・電気制御システムを設置する。港湾で働く輸出入業者の住居・水道・一般サービスの現代化。
- 近隣諸国と競合できる大型港湾の建設
  新たに Al-Faw Grand Port を建設する。2018 年、2028 年、2038 年の 3 段階でプロジェクトを進める。2018 年にはコンテナターミナルの数を 10～11、一般貨物ターミナルを 6～7 とする。2038 年にはコンテナターミナルの数を 22 にそれぞれ拡大する。

---

http://investpromo.gov.iq/nic_flash/refrence_materials/english%20investment%20Map2014.pdf
"The New Iraq – 2014 Discovering Business" Allurentis Ltd in association with NIC and UK Trade & Investment http://www.iraq-businessnews.com/media/The-New-Iraq-2014.pdf

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載

- 未利用の取扱い能力の活用
  港湾の管理･運営に現代的な電子システムを導入。石油向け港湾(Basrah と Al－Amiq)に新たなサービス施設を設置。Khor al-Zubair の港湾で液化ガス用施設を整備。ターミナルの地上取扱い設備を現代化。
- 港湾サービスの実施・運営で民間部門の役割を強化
  民間部門がインフラを建設し、ターミナルを運営してサービスを提供する。

表 2：　主要な既存港湾の取扱い能力拡大の目標

港湾名	2012 年（現状）		2017 年（目標）	
	ターミナル数	取扱い能力（100 万トン／年）	ターミナル数	取扱い能力（100 万トン／年）
Umm Qasr	22	7.5	41	14
Khor al-Zubair	12	6.4	25	10.65
Abu Flours	3	0.5	3	0.75
Al-Maqal	9	2.25	14	3.6
合計	46	16.65	83	29

出所：National Development Plan 2013-2017

Al-Faw Grand Port はすでに建設が始まっている。2018 年にはコンテナ貨物の取扱い能力と一般貨物の取扱い能力をそれぞれ 2,400 万トンとして、2038 年には取扱い能力を最終的にコンテナ貨物で 7,000 万トン、一般貨物で 4,400 万トンとすることを計画している。

3)　空港

政府は、拡大する航空輸送需要に対応するため既存の空港のインフラを拡張・強化するとともに新空港の建設を計画し、これにより輸送能力を拡大させる（表 3)。また、イラク航空を国際的な航空会社として再生する目標も掲げている。

表 3：　民間航空用の空港における輸送能力拡大の目標

	航空機の離発着数	旅客数	
		到着者数	出発者数
2012 年	13,906	992,301	1,008,847
2013 年	16,223	1,129,170	1,155,431
2014 年	18,540	1,266,039	1,302,015
2015 年	20,857	1,402,908	1,448,599
2016 年	23,174	1,539,777	1,595,183
2017 年	25,491	1,676,646	1,741,767

出所：National Development Plan 2013-2017

国家開発計画では、以下の目標と施策を挙げている。

- 既存空港の刷新・拡張
  バグダッド、Basarah、Ebril、Najaf、Mosul、Sulaymaniyah の各空港で計画。
- 新空港の建設
  宗教観光を中心とした観光需要に対応し、Middle Euphrates 空港（Babylon、Holy Karbala、Holy Najaf、Diwaniyah の各都市にアクセス）を建設する。

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載

- 民間部門の役割の強化
  公的部門と民間部門の提携に基づく新空港の建設・運営や既存空港の拡張の可能性を調査。空港のサービス施設の管理・運営を投資ベースで民間部門に開放する。

バグダッド国際空港を拡張し現代化する計画では、約 500 億ドルの投資が提案されている。また Erbil 国際空港では改修が進み、Sulaymaniyah 空港では旅客取扱い数の拡大に、Kirkuk と Basarah の空港では拡張にそれぞれ着手した。一方、Middle Euphrates 空港の建設では、2013 年 9 月に国家投資委員会と運輸省が Karbala 近くの 45 km^2 の予定地を発表し、建設コストの一部を民間の投資で賄うことを決めた。2014 年 12 月に運輸省は空港建設の契約企業を決め、正式な空港名も Imam Hussein International Airport となった。旅客取扱い能力は、第 1 段階の 4 年間に 600 万人とし、その後は第 2 段階で 1,200 万人、第 3 段階で 2,000 万人を計画。第 1 段階の建設費は 18 億 9,000 万ドルを予定している。

4)　道路

バグダッドを除く道路の総延長は、2011 年の時点で高速道路の約 1,100km を含めて 4 万 9,000km だが、これを 2017 年までに約 7,900km 増やすことを計画している（表 4）。

表 4：　道路と橋梁の建設目標

	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	合計
高速道路（km）	-	116	40	282	248	600	1,286
幹線道路（km）	75	93	146	291	161	175	941
主要道路（km）	485	807	775	541	788	1,108	4,504
二級道路（km）	115	246	104	273	225	185	1,148
コンクリート製橋梁（件）	8	25	20	16	11	13	93
跨線橋（件）	-	8	6	7	4	4	29
鉄製橋梁（件）	-	-	-	-	-	2	2

出所：National Development Plan 2013-2017

国家開発計画では、以下の施策を進めることを示した。

- 道路や橋梁の定期的なメンテナンスに適切な資金を提供するため、幹線道路・主要道路や橋梁の利用に一定額の料金を課す新法規を採択するか、既存の法規を改正する。
- プロジェクトを実施する道路と橋梁の品質管理の性能を高める。
- 道路の修復やメンテナンスで経済性を向上するため、現代的な技術を採用する。
- 民間部門の役割を強化する：インフラ整備では、国内と国外からの投資が重要な役割を果たし、サービスでも民間部門が効果的な支援を提供する。

5)　電力

イラクの 2012 年の発電量は 6,148MW で、このうち約 62%がガス、約 28%が蒸気、約 8%が水力で残りが軽油だった。電力需要は 2017 年には 1 万 9,800MW を超えると予想され、これに対応するために国家開発計画では発電容量を全体で 2 万 5,000MW に引き上げる目標を掲げる。また、電力システムの効率向上や電力需要家に対するサービスの向上も進める。こうした目標を達成するため、国家開発計画では以下のような施策を挙げている。なお、

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載

すでに 2013 年には発電容量で約 1 万 MW 分が建設中で、2014 年中から順次稼働している。

- 既存の発電所を改修。非経済的な発電所については、停止計画をまとめる。
- ガス火力発電所をシンプルサイクルからコンバインドサイクルに転換し、2016 年までに約 4,000MW の発電容量の拡大を見込む。
- 発電容量の拡大に対応するため、送配電網の開発・改修を優先する
  400kV の送電線 2,500km と 132kV の送電線 4,000km を設ける。新たに 400/132kV と 110/33kV の変電所を 27 カ所設ける。配電網に 33/11/kV のサブステーション(変電所)を約 400 カ所設けて配電網を向上させる。
- 都市部や新住宅地域を中心に電線をケーブルに転換する。
- 配電網での電力損失を減らすため、包括的なメンテナンス・改修方針を採択する。
- 電力の環境性能を高めるため、ガスなど発電効率を高める燃料を使う。発電施設や送配電には環境に優しい技術を使用し、経済的に実行可能と判明すれば太陽光などの再生可能エネルギーを拡大する。
- 民間部門の参加を促進する：民間企業による発電施設の建設や配電分野の管理に対する直接投資、配電網の運営の民間企業への委託など。
- 研究の実施における電力省と大学・研究機関の協力の強化。

6)　住宅開発・都市開発

都市開発で国家開発計画が最も重視するのは住宅開発である。10 年間で 200 万～350 万戸の住宅が不足すると見込まれているためで、計画では 2017 年までに 100 万戸の住宅を供給する目標を掲げる。このため中央政府の予算から年に 2 兆ディナール以上を投資する方針を示した。また住宅開発や都市開発は地域格差の是正の点でも重視され、県など地方政府の権限を強めることも目指している。主な目標や施策は以下の通りである。

- 住宅建設における民間部門の参画
  住宅建設や住宅設備の分野で民間企業の設立を促進する。投資会社の住宅市場への参入を促す。大規模な土地を公共部門から民間部門の企業に売却するなど、住宅建設を促進するために新たな規制を採択する。
- 各県の間の住宅不足の不均衡是正、および農村地域の住宅水準の向上。
- 住宅建設の効率向上とコストの削減。環境に優しい住宅の品質基準に注意を払う。
- 市街地の都市再開発と市街地の土地利用の見直し
  都市の再開発地域についての統合調査に着手する。市街地の土地の管理を変革するプロジェクトの実施を促進する。大型の住宅複合施設の建設機会に投資し、イラクの都市における構造的欠陥を是正する。更新していない市街地の土地利用計画を見直し、今後の住宅の必要に向けて十分なスペースを配分。考古学的に重要な地域を保存する。
- 都市・住宅開発における地方政府の役割の強化
  中央政府の予算からプログラムへの配分割合を増やすことで、地域と県による開発を強化する。地域レベルのプロジェクトに対する中央政府の意思決定プロセスで、地方政府の役割を強化する。市街地の土地管理を中央から地方に転換する。
- 都市管理・都市計画の活性化
  都市開発の国家戦略を策定し、県の開発プログラムの策定・実施における方向性を尊

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載

重する。中央政府や県で都市計画を担う組織の構造や機能を定めた都市計画に関する法規を策定し採択する。

Copyright © 2015 JETRO. All rights reserved.
禁無断転載